

わがまちトークの実施内容

| | |
|-----|--|
| テーマ | 水産業の未来 ～「担い手」や「消費拡大」について考えよう～ |
| 相手方 | 漁業関係者、水産物の流通・加工関係者、若者世代、 水産業について学んでいる方、テーマに関心のある方 |

アジェンダ

【目的】

何のために意見交換をするのか

どうすれば消費が拡大するか、担い手が確保できるかを中心に、水産業が維持・発展し、水産物が食卓に並び続けるために必要なことは何かを考える。

【目標】

意見交換の終了後にどこまで到達していきたいか

- ・ 消費拡大と担い手確保のための方策（アイデア）が出ている。
- ・ 出された方策について、自分自身ができること、事業者ができること、行政ができることが整理できている。

【論点と進め方】※進め方の詳細は次ページ

目標を達成するために、具体的に何に対して意見を出すのか（＝論点）と、それらをどのような順番で、どれくらいの時間で意見交換するのか

| | | | |
|---|------------------|-----|-----------------|
| 1 | 自己紹介 | ・・・ | 6分（1人1分以内） |
| 2 | アジェンダの共有 | ・・・ | 2分（進め方の再確認） |
| 3 | 消費拡大の方策について意見交換 | ・・・ | 20分（付箋に記載→意見交換） |
| 4 | 担い手確保の方策について意見交換 | ・・・ | 20分（付箋に記載→意見交換） |
| 5 | グルーピング | ・・・ | 17分（グループ名の付与等） |
| 6 | 意見の取りまとめ | ・・・ | 5分（意見交換の結果の確認） |

【ルール】

目的・目標達成を容易にする（スムーズにする）ためのルール・決まりごと（これまでのグランドルールとは別に付け加える詳細なルール）

| |
|--|
| |
|--|

《参考：グランドルール》

- ☆ 積極的に聴く・書く・話す
- ☆ 否定・批判をしない
- ☆ 肩書きや立場を気にしない
- ☆ 皆さんの時間を大切に

進め方の詳細

1 自己紹介【6分】

- ・ 「名前」「住んでいる地域（字名）」「水産物（魚）をどれくらいの頻度で、どのように（調理法等）食べているか」を1人1分以内で紹介する。
- ・ 基準（見本）となるように、議員から自己紹介を始める。

2 アジェンダの共有【2分】

- ・ 意見交換の進め方の部分を再度確認する。

3 消費拡大の方策について意見交換【20分】

- ・ 議員から魚離れの一般的な要因（価格、調理の手間、食べる手間など）を説明した上で、「こうしたらもっと食べるようになる・消費が増える」というアイデアを付箋に記載する。
- ・ 付箋を模造紙に貼り出し、記載した人の意見を聞く（どのような課題に対応する方策かも確認）。

4 担い手確保の方策について意見交換【20分】

- ・ 議員から担い手不足の一般的な要因を説明し、必要に応じて班内の水産業関係者に現状等を聞いて共有した上で、解消方策を付箋に記載する。
- ・ 付箋を模造紙に貼り出し、記載した人の意見を聞く（どのような課題に対応する方策かも確認）。

5 グループング【17分】

- ・ 貼り出された方策を「自分自身ができること」「事業者ができること」「行政がやるべきこと」に分類する。
- ・ 意見が少ないものがある場合は、必要に応じて追加提案を募る。
- ・ それぞれの分類の中で似たものをひとまとめにし、内容を要約したグループ名をつける。

6 意見の取りまとめ【5分】

- ・ 全体会で共有（発表）する内容を班内で確認する（合意を得る）。